官製談合再発防止対策
骨子（案）

令和８年９月２日

弥富市官製談合再発防止対策検討委員会

再発防止対策骨子

官製談合事件の要因等

- 今回の官製談合事件は、コンプライアンスよりも事業者等との不健全・不適切な関係を優先した前建設部長の倫理意識の低下が要因である。
- 一方で、恒常的に市民・事業者と接し、様々な要求・要望等を受ける職員にとって、コンプライアンス・倫理意識の向上だけでは、過度の負担が生じる。

今回の官製談合事件が生じた要因である「職員の倫理意識の低下」への対策に加えて、職員の倫理意識のみに依存しない「組織体制・入札制度」による対策の２つの切り口で整理。

対策に当たっての留意点

- 職員の倫理意識を低下させない対策は、単に職員に規律を課すものではなく、適切に運用することで職員を不法行為等から守ること（安心）に繋がることを職員が理解する必要がある。

再発防止対策骨子

項　　目		対策方針
職員の倫理意識を低下させない対策		・職員倫理に関する基準の明確化
		・倫理意識の醸成・維持
		・コンプライアンス研修の拡充
		・公益通報制度等に対する理解の向上
組織体制・入札制度による対策	組織体制	・事業者等に対する周知
		・契約事務・契約制度に係る職員研修の実施
		・職員間のコミュニケーションの円滑化・情報共有のルール化
		・予定価格等に係る情報管理の改善
	入札制度	・指名業者選定基準・一般競争入札参加資格の運用の見直し
		・入札結果の定期的な確認
		・ゼロ債務負担行為の活用による工期の確保
		・予定価格の事前公表・一般競争入札対象の拡大の検討